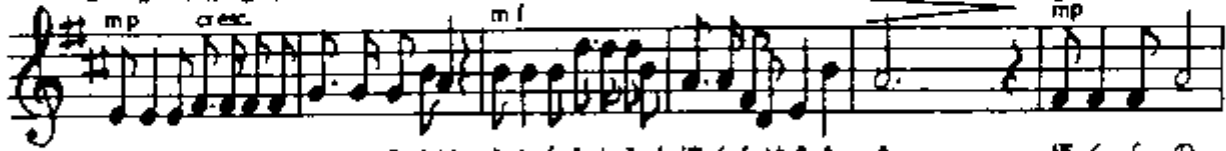


校 歌

金田一 京 助 作詞
藤 田 為 宏 作曲



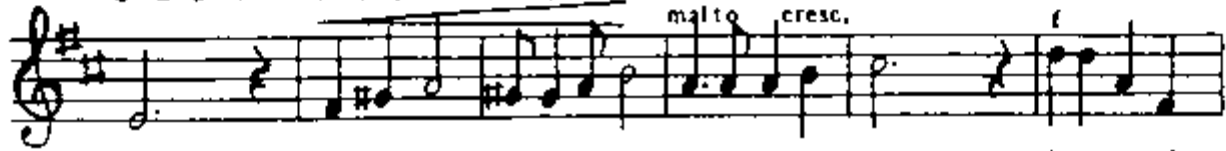
1 さわやかにひがのぼると一き ことりのむねはあつくなる
2 かくわしくかぜふくひに一は けだかいーあじはよんでいる



きほかにばたくがっせうにきよくあかるくほくらはうたう ほくらの
りせうとゆうきのひをかかげつよくたたくほくらはすすむ ほくらの



こころに あいある かぎり 3しすかに ゆうひ しすむと
こころに ゆめある かぎり



ま なみはほのかともえさかる まつのは



まべに てをつなぎ うみにむかって ほくらはさけ



ぶ ほくらはしあわせともある かぎり

校 歌

一 さわやかに日が昇るとき
小鳥の胸は熱くなる
希望にはばたく合奏に
清く明るくほくらは歌う
ほくらの心に愛ある限り

二 かぐわしく風吹く日には
けだかい富士は呼んでいる
理想と勇気の灯をかかげ
強く正しくほくらは進む
ほくらの心に夢ある限り

三 静かに夕陽沈むとき
波は炎と燃えさかる
松の浜辺に手をつなぎ
海に向ってほくらは叫ぶ
ほくらは幸せ友ある限り